

平成26年度

第2回 高崎学検定

平成26年10月26日(日)



—— 問題用紙 ——

制限時間 90 分

高崎学検定委員会

問 1

榛名山は約 50 万年前から、激しい火山活動を何度も繰り返し、たくさんの峰を形成しました。【 ア 】に 2 回の大噴火と火山活動で【 イ 】(1,343 メートル)が出来て以降、大規模の噴火は起きていません。【 イ 】は榛名山の峰の中で 6 番目の高さです。榛名山の最高峰はかもんがだけ掃部ヶ岳(1,449 メートル)で、相馬山(1,411 メートル)が 2 番目、榛名富士(1,391 メートル)は 3 番目となります。

ア： (1) 紀元前 10 世紀 (2) 1 ～ 2 世紀
(3) 5 ～ 6 世紀 (4) 18 世紀

イ： (1) 鍋割山 (2) ニツ岳 (3) 小野子山 (4) 金鷄山

問 2

現在、【 ア 】三碑と総称されるやまのうえ山上碑・たご多胡碑・かないざわ金井沢碑は、全て国特別史跡に指定されていますが、特に多胡碑は、江戸時代の後半から朝鮮・中国でも注目されていました。端緒は、徳川家治いえはるの将軍就任に際して来日した【 イ 】に多胡碑拓本が渡されたことに遡ります。2014 (平成 26) 年は、多胡碑が海を渡ってからちょうど【 ウ 】年の節目の年です。維新後、三碑の保存・評価・普及に尽力した第二次群馬県最初の県令【 エ 】が、しん清末の学者・ようしゅけい楊守敬の求めに応じて多胡碑拓本を贈呈したことにより、世界的評価が定着しました。

ア： (1) 日本 (2) あづまのくに東国 (3) こうづけ上野 (4) 群馬

イ： (1) こうらい高麗使 (2) ちょうせん朝鮮通信使
(3) みん明国使 (4) しん清国使

ウ： (1) 150 (2) 250 (3) 400 (4) 500

エ： (1) かとりもとひこ楫取素彦 (2) ゆあさじろう湯浅治郎
(3) やじまはちろう矢島八郎 (4) しもむらぜんたろう下村善太郎

問 3

金井沢碑は、山名町の丘陵地に建てられた古代の石碑で、きわめて貴重な文化財として国特別史跡に指定されています。【 ア 】時代前半の726（神亀^{じんき}3）年に当地の豪族である三家氏^{みやけ}とその同族たちが、【 イ 】のために造立したものです。

ア： (1) 古墳 (2) 奈良 (3) 平安 (4) 鎌倉

イ： (1) 立身出世 (2) 現世利益
(3) 祖先供養 (4) 極楽往生

問 4

国指定史跡の観音塚古墳は、高崎市八幡町^{やわた}に所在する大型【 ア 】です。後円部南に開く横穴式石室は、日本を代表する【 イ 】として著名です。30種300点あまりを数える出土品は、一括して国重要文化財に指定されており、特に銅承台^{どううけだい}付蓋^{ふた}鉢^{わん}は、百濟武寧王陵^{くだらぶねいおうりょう}の出土品とも類似し、日本の【 ウ 】出土品のなかでも名品として知られています。八幡台地を拠点にして古代の【 エ 】郡域に勢力を張った東国有数の首長像が推定されます。

ア： (1) 円墳 (2) 前方後円墳
(3) 方墳 (4) 前方後方墳

イ： (1) 巨石積み石室 (2) 切石積み石室
(3) 埴^{せん}積み石室 (4) 模様積み石室

ウ： (1) 前期古墳 (2) 中期古墳
(3) 後期古墳 (4) 終末期古墳

エ： (1) 碓氷・片岡 (2) 群馬・碓氷
(3) 群馬・緑野^{みどの} (4) 片岡・緑野

問 5

国史跡上野国分寺は、【 ア 】の詔^{みことり}によって建設が開始された諸国分寺の一つですが、【 イ 】の記述から、全国で最も早い時期に完成した国分寺だと考えられます。その規模もまた全国最大級でした。中でも七重塔^{しちじゅうのとう}は、礎石の規模から、高さ【 ウ 】メートルと推定され、1998（平成 10）年に高崎市庁舎が完成するまで、群馬県史上最も高い建物だったと考えられています。

ア：（1）天武天皇 （2）聖武天皇
 （3）文武天皇 （4）神武天皇

イ：（1）日本書紀 （2）続日本紀^{しよくにほんぎ}
 （3）古事記 （4）日本後紀

ウ：（1）約 20 （2）約 40 （3）約 60 （4）約 100

問 6

剣崎町の台地上で発掘された剣崎長瀬^{ながとろ}西遺跡からは、【 ア 】の積石塚^{いしづか}・【 イ 】・馬の墓・韓式系土器などがセットで出土しました。これらの出土品は朝鮮半島の加耶^{かや}地域の特徴を示しており、このころ高崎市域に多くの渡来人が招致され、地域開発に協力していたことが判明しました。

ア：（1）弥生時代 （2）古墳時代
 （3）奈良時代 （4）飛鳥時代

イ：（1）金製耳飾り （2）金製の靴
 （3）金製の帯金具 （4）金製の冠

問 7

新田義重の子、義範は与えられた所領に豊前国の宇佐神宮を勧請し（ ）を建立しました。義範は源頼朝の出兵にいち早く参じて以来、源氏一門衆として転戦し、一ノ谷の戦いでは有名な^{ひよどりごえ}鶴越の逆落としによって背後から平家を急襲するなど活躍しました。

- (1) 熊野神社 (2) 生品神社
- (3) 倉賀野神社 (4) 山名八幡宮

問 8

井伊直政が高崎城下の町割をした際に、箕輪城下にあった町をたくさん移しましたが、該当しない町はどれでしょうか。

- (1) 鍛冶町 (2) 田町 (3) 柳川町 (4) 連雀町

問 9

下室田町にある^{ちょうねんじ}長年寺は、^{たかとめ}鷹留城主や（ ）であった長野氏の菩提寺です。

- (1) 和田城主 (2) 里見城主
- (3) 箕輪城主 (4) 安中城主

問 10

高崎城下は、烏川を背にして築かれた高崎城の東から北にかけて町が形成されました。その一番外側を堀と土居で囲んでいましたが、この防衛施設は何というのでしょうか。

- (1) ^{おそなえくるわ}御備曲輪 (2) ^{そうくるわ}総郭
- (3) ^{ついでどるい}築地土塁 (4) ^{とおがま}遠構え

問 11

市指定史跡の高崎城址三の丸堀と土塁のうち、シンフォニーロードが交差する辺りに残されている防衛上の工夫は全国的にも貴重な史跡です。この遺構は何というのでしょうか。

- (1) ^{うまだし}馬出 (2) ^{くいちがいこぐち}喰違虎口 (3) ^{でます}出枡 (4) ^{ほりきり}堀切

問 12

中山道は1601（慶長6）年頃に創設され順次整備されました。高崎城下では初め本町から椿町へ進み、法華寺に突きあたると右折し通町を通過して南へ進んでいましたが、【 ア 】が本町三丁目で曲げ城下を貫く道筋に変更しました。また、輸送荷物が増加したため本町だけの継場ではさばききれなくなり、1632（寛永9）年から【 イ 】が本町のほか【 ウ 】に問屋場を設け、この三か町が日を分けて対応しました。

- ア： (1) ^{い い なおまさ}井伊直政 (2) ^{さかい い えつぐ}酒井家次
(3) ^{と だ やすなが}戸田康長 (4) ^{まつだいらのぶよし}松平信吉

- イ： (1) ^{あんどうしげなが}安藤重長 (2) ^{す わ よりなが}諏訪頼永
(3) ^{まつだいらてるさだ}松平輝貞 (4) ^{まなべあきふさ}間部詮房

- ウ： (1) 九蔵町・田町 (2) 九蔵町・連雀町
(3) 連雀町・新町(現在あら町) (4) 田町・新町(現在あら町)



山崎一氏作成 高崎城と城下町図より

問 13

“当国第一繁昌の大市”と称された田町の絹市は、毎月何回開催されたでしょうか。

- (1) 5回 (2) 6回 (3) 10回 (4) 12回

問 14

徳川 6 代将軍家宣^{いえのぶ}・7 代将軍家継^{いえつぐ}の補佐役であった高崎藩主間部詮房^{まなべあきふさ}が将軍への献上品として使うなど、高崎が全国の名産地であった品は何でしょうか。

- (1) 黒大豆 (2) 煙草^{たばこ} (3) ねぎ (4) 麦落雁^{むぎらくがん}

問 15

江戸時代の高崎は城下町ではありましたが、流通経済の拠点として関東地方有数の商都として繁栄していました。そのため、商都にふさわしい有力業者が店を構えました。守随家^{しゆずい}もその一つですが、その職業は次のどれでしょうか。

- (1) 絹買宿^{きぬかいやど} (2) 定飛脚問屋^{じょうびきゃくどんや}
(3) 伝馬問屋^{てんまどんや} (4) 秤座^{はかりざ}

問 16

市重要文化財に指定された、高崎藩お抱えの刀工であった長谷部義重^{はせべよししげ}が作った大太刀が奉納されているのはどの神社でしょうか。

- (1) 南町・愛宕神社^{あたご} (2) 石原町・小祝神社^{おぼり}
(3) 柴崎町・進雄神社^{すすのお} (4) 上小塙町・烏子稻荷神社^{すないごいなり}

問 17

倉賀野は舟運^{しゅううん}の河岸として流通の拠点でした。次の記述のうち正しいものはどれでしょうか？

- (1) 倉賀野河岸は江戸廻り船が遡航できる最上流の河岸でした。
- (2) 倉賀野河岸の規模は大きく、天明時代の船数は 150 艘近くありました。
- (3) 倉賀野河岸は倉賀野宿と隣接していたため、河岸問屋が本陣と脇本陣を輪番で担当していました。
- (4) 河岸問屋は自分の船を所持せず、船積み荷物を船持に取次をするのが業務でした。

問 18

吉井地域は【 ア 】の後に、菅沼氏、安藤氏、堀田氏などの諸大名の支配を経ましたが、小幡藩・七日市藩などの近隣諸藩領や、旗本の領地が入り組んでいました。一方、関白左大臣鷹司信房^{たかつかさのぶふさ}の子信平^{のぶひら}は、徳川氏との縁から將軍家綱より【 イ 】氏を名のることを許されます。その後上野国（碓氷・群馬・緑野・多胡）と上総国から 7 千石を支配するようになりました。信平の孫信清^{のぶきよ}の時代には、更に上野国 4 郡より 3 千石が加増されて 1 万石の大名となり【 ウ 】に陣屋を置きます。（その後吉井へ）幕末の動乱期に吉井藩主となった信発^{のぶおき}は、開国をめぐって大老井伊直弼^{いのなおすけ}と対立した水戸藩の徳川【 エ 】に、永蟄居^{えいちきよ}（終身一室で謹慎すること）を命じる大役を果たした人物として知られています。

ア： (1) 徳川家康の関東入部 (2) 武田信玄の西上州侵攻
(3) 長尾景虎の越山 (4) 上杉憲政の越後入り

イ： (1) 大河内 (2) 松平 (3) 徳川 (4) 吉井

ウ： (1) 奥平 (2) 山名 (3) 矢田 (4) 小幡

エ： (1) 頼宣^{よりのぶ} (2) 光圀^{みつくに} (3) 慶喜^{よしのぶ} (4) 斉昭^{なりあき}

問 19

下小鳥町には市指定文化財のいわゆる三国街道の道しるべが残されています。2メートルを超える石柱には

左		右 越 後
☐	く	ぬ
☐	さ	ま
☐	つ	た
	か	さ
	わ	は
	ら	た
道	ゆ	り
		ま
		道



と刻まれています。□□□に入る地名は次のうちどれでしょうか。

- (1) はるな (2) かねこ (3) やはた (4) ちちふ

問 20

中山道の宿場であった新町宿は、上野国と武蔵国を分ける【 ア 】に臨んでいましたが、古くより荒れ川で、出水毎に川瀬道筋を変える通行の難所でした。

そこで、1815(文化 12)年、夜道の旅人など通行人の難儀を解消すべく、【 ア 】の両岸に石灯籠を建て毎夜火を点じて通行人の安全を計ることにしました。新町宿側の石灯籠は宿内外からの寄進により財源を捻出しました。寄附者の中には、草津への旅の途中に立ち寄った【 イ 】もいました。

ア： (1) 利根川 (2) 井野川 (3) 滝川 (4) 神流川^{かん ながわ}

イ： (1) 歌川広重 (2) 松尾芭蕉
(3) 小林一茶 (4) 伊能忠敬

問 21

国指定史跡箕輪城跡は、榛名山東南麓に立地する中世末から近世初頭の【 ア 】です。【 イ 】上杉氏の配下であった地元豪族の長野氏によって、西暦 1500 年前後に築城され、西上州支配の拠点となりました。永禄年間からは、隣国の武田信玄がたびたび西上州に侵攻するようになり、1566（永禄 9）年ついに落城しました。その後も時代の流れに従って、武田氏→【 ウ 】→後北条氏→徳川氏と支配者が移り変わりましたが、1598（慶長 3）年には高崎への移転によって廃城となりました。

ア： (1) 山城 (2) 平城 (3) 平山城 (4) 丘城

イ： (1) 足利将軍 (2) 鎌倉公方
(3) 奥州探題 (4) 関東管領

ウ： (1) 織田氏 (2) 上杉氏 (3) 足利氏 (4) 伊達氏

問 22

高崎の市街地を通して田園地帯を流れる長野堰は、烏川と【 ア 】にはさまれた水利に恵まれない台地に水を供給するために作られました。榛名町本郷（現高崎市本郷町）の烏川を取水口としています。

この長野堰は高崎の重要な用水として農業には欠かせない受益地の広い灌漑用水であり、明治時代には飲料水としても使われました。その後【 イ 】業、製糸業、製紙業などがこの用水を利用して高崎の発展と密接にかかわっていきます。

高崎城址のお濠の水も長野堰の水を引いていますが、長野堰の取水する地点と高崎市役所の標高差は約 12 メートルです。

ア： (1) 白川 (2) 井野川 (3) 唐沢川 (4) 利根川

イ： (1) 染色 (2) 精米 (3) 養鶏 (4) 養豚

問 23

1876(明治 9) 年、熊谷県が廃され、上野国の地域を県域とする第二次群馬県が成立し、県庁の所在地は高崎になりました。県庁を置くのに最適な高崎城は、陸軍に接収されていたため、仕方なく県政事務を分散して行うことになりました。この時、群馬県仮庁となったお寺はどれでしょうか。

- (1) 石上寺^{せきじょうじ} (2) 長松寺^{ちょうしょうじ} (3) 安国寺^{あんこくじ} (4) 徳昌寺^{とくしょうじ}

問 24

現在は名称だけ残り、行政制度として機能しなくなった「郡」ですが、以前は郡長、郡役所、郡議会が置かれ、地方行政に一定の働きをしていました。次の郡のうち、今の高崎市域が所属していないのはどれでしょうか。

- (1) 片岡郡 (2) 多野郡 (3) 碓氷郡 (4) 北勢多郡

問 25

明治時代の初期、自由民権運動が起こりました。国会開設・地租の軽減・条約改正を求める運動でした。高崎地域の人々もこれに加わり、民権政社を結成しました。高崎に結成された政社はどれでしょうか。

- (1) 立志社 (2) 有信社 (3) 同志社 (4) 講談社

問 26

高崎は以前軍隊が置かれていました。地域から若者が徴集され、青年の一時期を兵営の中で過ごしました。高崎に置かれた歩兵第十五連隊についての記述で、間違っているのはどれでしょうか。

- (1) 1884(明治 17)年、日本陸軍の大規模な軍備増強によって、10 の連隊が新しく設置されます。その時設置されたのが、高崎歩兵第十五連隊です。
- (2) 自由民権運動の激化事件である秩父事件が起こったとき、高崎歩兵第十五連隊は、碓氷峠を越えて佐久へ出撃し、東馬流で困民軍ひがし まながし こんみんぐんと銃撃戦を交えました。
- (3) 1907(明治 40)年、足尾銅山で労働条件改善の運動が起こり、混乱状態になりました。労使紛争に軍隊が出向くのは良くないので、高崎歩兵第十五連隊は出陣しませんでした。
- (4) 明治時代の高崎歩兵第十五連隊は、栄養の偏りから脚気患者かっ け かん じゃが多く発生したり、民間で発生したコレラやチフスが兵営に伝染し、病勢が猛烈を極めたりしたことがありました。

問 27

高崎市域は、製粉業が盛んで、大正期に大きな製粉工場が二つもつくられました。製粉に関する次の文章で、間違っているのはどれでしょうか。

- (1) 高崎市域は、以前から小麦の生産地でした。
- (2) 交通が便利なので、原料小麦や粉製品などの輸送に便利でした。
- (3) 高崎市域は米・野菜の生産や養蚕業が盛んですが、小麦の生産はまったく行いませんでした。
- (4) 昔から水車製粉があり、製粉業の基盤がありました。

問 28

高崎市はこれまで3回にわたる市史の編さん・発行をしています。その最初の編さん事業は、1923（大正12）年7月、時の市長【 ア 】が計画、やまのうちとめや山内留弥を起用して史料の収集・編さんに当たり、たんげちんぞう丹下鎮象やあまだたきじ天田瀧冶が校正・補正に尽力しました。1925（大正14）年、脱稿しましたが、なお正確を期すために時間を要し『高崎市史（上）（下）』2巻が完成したのは【 イ 】でした。

ア： (1) 矢島八郎 (2) 土谷全次
(3) 久保田宗太郎 (4) 小島弘一

イ： (1) 1927（昭和2）年 (2) 1929（昭和4）年
(3) 1931（昭和6）年 (4) 1933（昭和8）年

問 29

高崎市街地の西部に位置する丘陵「観音山」の名称は、【 ア 】年前に【 イ 】が京都清水寺から勧請し建立したと伝えられる石原町の清水寺の本尊【 ウ 】に由来します。観音堂の回廊には幕末の高崎を代表する絵師・いっちゃんさいよしてろ一椿斎芳輝の絵馬が掲げられ、境内に建つ【 エ 】には下仁田戦争で戦死した高崎藩関係者の慰霊木像36体が安置されています。

ア： (1) 約800 (2) 約1000
(3) 約1200 (4) 約1400

イ： (1) さかのうえの たむら まろ坂上 田村麻呂 (2) たいらの まさかど平 将門
(3) ふじわらひでさと藤原秀郷 (4) みなもとの つねもと源 経基

ウ： (1) 十一面観音 (2) 聖観音
(3) 千手観音 (4) 如意輪観音

エ： (1) 右京堂 (2) 仙岳堂 (3) 田村堂 (4) 忠魂堂

問 30

1884(明治 17)年に日本最初の【 ア 】鉄道として開業した高崎線は、生糸を横浜港に運ぶ中核的役割を果たし「生糸鉄道」と呼ばれたほどでした。翌年には鉄路は横川まで伸び、5 年後には両毛線が全通、【 イ 】も 1897(明治 30)年に営業を始めています。まさに日本のシルクロードでした。現在も、【 ウ 】の貨物基地は北関東の物流・エネルギー基地として、東日本大震災の際にも大きな力を発揮しました。今年度末には上野・東京ラインが開通、東京駅への直接乗り入れが始まります。北陸新幹線の【 エ 】延伸も同時期です。内陸の港と言われる群馬・高崎に対する期待はますます高まっています。

ア： (1) 官営 (2) 民営 (3) 国有 (4) 軽便

イ： (1) 上信電鉄 (2) 上毛電鉄
(3) 伊香保電鉄 (4) 草軽電鉄

ウ： (1) 下之城 (2) 倉賀野 (3) 八幡 (4) 日高

エ： (1) 富山 (2) 金沢 (3) 福井 (4) 敦賀

問 31

道路交通は時代によって変化して行きました。高崎市域も同じように変化しました。道路交通について記述した次の文章で、間違っているのはどれでしょうか。

- (1) 明治の新時代になると、駕籠^{かご}にかわって人力車が使われるようになりました。
- (2) 多くの人を輸送するために、馬車が使われるようになりました。
- (3) 自動車が入り込まれるようになると、明治期から使われていた馬車(道路馬車)が次第に姿を消し、自動車にかわっていきました。
- (4) 自転車が使われるようになりましたが、ほとんど普及しませんでした。

問 32

高崎地域は、横浜開港以後、急速に繭・【 ア 】の生産が盛んになり、水はけの良い山麓や台地などが、一面の桑畑となりました。

蚕を飼うため農家の作りも工夫され、榛名山麓の平屋の農家では、屋根裏を養蚕作業に使うため、切妻屋根の南側中央部を切り落とし、そこに底をつけた【 イ 】の養蚕農家が現れました。その後、二階建て養蚕農家が増えて行きました。蚕はきれいな空気が必要です。空気の流通を良くするため、二階の屋根の上に【 ウ 】が設けられました。やがて、二階建てでこのような施設をもった養蚕農家が一般的になりました。

蚕は4回脱皮して、繭をつくります。この時、養蚕農家では蚕が繭をつくりやすいように、【 エ 】を置いてやります。そこに蚕は繭をつくりました。繭を煮て糸を繰り取る道具が【 オ 】で、高崎地域では機械製糸に移る前、盛んに使われ、品質の良い生糸の大量生産に役立ちました。

- ア： (1) 茶 (2) 生糸 (3) 米 (4) 木綿
- イ： (1) 縦穴式たてあなしき (2) 寄棟型よせむねがた (3) 高床式たかゆかしき (4) 榛名型はるながた
- ウ： (1) 櫓やぐら (2) 屋台 (3) 天守閣てんしゅかく (4) 塔
- エ： (1) むしろ (2) まぶし (3) 箱 (4) 籠かご
- オ： (1) 胴繰器どうぐりき (2) 手繰てぐり (3) 座繰器ざぐりき (4) 牛首うしくび

問 33

生糸輸出が盛んな頃、高崎地域の農家の大部分は養蚕業を営んでいました。比較的多くの農家が採用した蚕を飼う方法は、次の飼育法のうちどれでしょうか。

- (1) いぶし飼い (2) 清温育せいおんいく
- (3) 冷涼育れいりょういく (4) はなし飼い

問 34

富岡製糸場創業から5年後、新町屑糸紡績所（内務省勸業寮屑糸紡績所）が創業します。

製糸場は繭から【 ア 】を生産しますが、屑糸紡績所は【 ア 】を生産する過程で発生する屑繭・屑糸を原料として【 イ 】を生産し商品化します。

屑糸紡績所ができる以前の屑繭は、真綿として利用される程度で、外国へ安く輸出されていたので、国内で【 イ 】を製造する紡績が重要であると官営工場が新町に建設されました。

工場は日本人の大工、山添喜三郎が【 ウ 】万博開催中のヨーロッパを訪問し学んだ事がもとになっており、設計から施工まで純国産の工場の第1号として、「富岡製糸場と絹産業遺産群」に並ぶ価値があるといわれています。

ア： (1) 生糸 (2) 絹糸 (3) 木綿糸 (4) 麻糸

イ： (1) 生糸 (2) 絹糸 (3) 木綿糸 (4) 麻糸

ウ： (1) ウィーン (2) ローマ
(3) ロンドン (4) ベルリン

問 35

高崎市は1902（明治35）年に本格的な浄水場を造ることを決定し、1910（明治43）年に給水人口5万人を想定した上水道が敷設されました。この浄水場はどこにつくられたのでしょうか。

(1) 若田町 (2) 剣崎町 (3) 鼻高町 (4) 乗附町

問 36

1936（昭和 11）年 10 月に白衣大観音が完成し、観光事業に対する市民の期待が寄せられ、1937（昭和 12）年には高崎観光協会が設立されました。

高崎観光協会の設立目的は二つありました。一つは白衣大観音による観光ですが、もう一つは何だったのでしょうか。

- (1) 電気館や高盛座など当時大人気だった映画や興行による観光振興
- (2) 1940(昭和15)年に開催が予定されていた東京オリンピックでの外国人観光客の誘致
- (3) 観音山に観光客を誘致するための駐車場や道路の造成
- (4) 白衣大観音を護持するための寺院を観音山に誘致

問 37

JA高崎ハム株式会社の前身は、【 ア 】として1937（昭和 12）年に設立されました。その際、高崎市から、「高崎に工場を建設し高崎ハムと命名する」「汽車の窓から見えるように【 イ 】高崎ハムと書く」という条件で末広町に土地が提供されたといわれています。

- ア：** (1) 東日本畜産加工組合 (2) 群馬畜肉加工組合
(3) 日本畜産加工組合 (4) 関東畜肉加工組合
- イ：** (1) 大きな看板に (2) 屋根に大きく
(3) 壁に大きく (4) フェンスに大きく

問 38

明治の新時代に入り、貿易が盛んになると銀行が設立されました。群馬県に最初に開設されたのが第二国立銀行高崎支店です。1875（明治 8）年 1 月のことです。第二国立銀行の本店は横浜に置かれ、支店は高崎のほか東京・横須賀だけでした。交通の便がよく商業が盛んで【 ア 】が行われている高崎を重視し、支店を置いたのです。第二国立銀行の副頭取が高崎出身の茂木惣兵衛^{もぎ そうべえ}であったことも関係がありました。

第二国立銀行は、国立銀行条例^{じゅんきょ}に準拠し、正貨兌換^{せい か だ かん}の国立銀行券を発行、殖産興業の資金を供給していますが、横浜為替会社を改組してつくられた【 イ 】の銀行でした。

ア： (1) 綿花取引 (2) 生糸取引
(3) 米取引 (4) 株取引

イ： (1) 外商組合営 (2) 省営 (3) 県営 (4) 民営

問 39

日本のプロフェッショナルのオーケストラ（固定給与を支給しているメンバーによる二管編成以上のオーケストラ）は 25 団体あります。【 ア 】に 9 団体、政令指定都市に 13 団体、そのほかは高崎を本拠地とする群馬交響楽団とアンサンブル金沢と【 イ 】交響楽団が存在します。

群馬交響楽団の楽団員は音楽家としての自主性が尊重されており、群馬交響楽団としての演奏だけでなく、自主的に独自の演奏活動ができます。

このように、高崎はクラシック音楽の演奏会の回数も多く、群馬交響楽団は「【 ウ 】高崎」というキャッチコピーの中核となっています。

ア： (1) 東京 (2) 首都圏
(3) 東京・大阪 (4) 東京・大阪・京都

イ： (1) 宇都宮 (2) 甲府 (3) 長野 (4) 山形

ウ： (1) 音楽のあふれる街 (2) 音楽のある街
(3) 音楽家が育つ街 (4) 音楽都市

問 40

毎年 8 月に高崎の中心部を主会場として開催される「高崎まつり」は、1970（昭和 45）年までは市が主催して 5 年毎に山車まつりが開かれていました。しかし、オイルショックの影響もあって市主催では開催しないことがわかり、【 ア 】が中心となって市民全体で自主的に祭りを実行しようということになったのが始まりです。

初期は、【 イ 】という名称で【 ア 】が交替で主管し、後に「高崎まつり」と名称が替わり、今年は通算で 40 回となりました。

- ア： (1) 商工会議所 (2) 青年団体
(3) 高崎実業組合 (4) 高崎各業組合
- イ： (1) 高崎芸能祭り (2) 高崎市民祭り
(3) 高崎商工祭り (4) 高崎ふるさと祭り

問 41

現在、高崎市内には 58 の公立小学校がありますが、このうち最も新しく開校したのは、次のうちのどの小学校でしょうか。

- (1) 桜山小学校 (2) 鼻高小学校
(3) 箕郷東小学校 (4) 南陽台小学校

問 42

群馬県内初のコミュニティFMの放送局として 1997（平成 9）年に開局したラジオ高崎の周波数として、正しいものはどれでしょうか。

- (1) 76.2 メガヘルツ (2) 79.5 メガヘルツ
(3) 81.6 メガヘルツ (4) 86.3 メガヘルツ

問 43

高崎藩松平（大河内）家では、藩の重役にして藤原定家の流れをくむ
れいぜいためむら
 冷泉為村門下の最も優れた歌人【 ア 】がいたこともあり、藩主をはじめ
 多くの藩士が和歌を嗜みました。藩主は遠祖である【 イ 】の遠忌
 の際に、公卿や大名を集め詠んだ和歌の奉納を行なうなど堂上派歌壇の
 中心をなしていました。大河内家 10 代藩主のてるな輝声しよたいかれんがじょうが代々の藩主の集めた
 13 巻の連歌を一冊に整理した諸大家連歌帖は、群馬県の重要文化財に
 指定されています。

- ア： (1) いづかひさとし 飯塚久敏 (2) とみおかまさよし 富岡正美
 (3) みやべ よしまさ 宮部義正 (4) よこはまさとも 横浜正倫
- イ： (1) みなもと よしいえ 源 義家 (2) みなもと よりみつ 源 頼光
 (3) みなもと よりまさ 源 頼政 (4) みなもと よしくに 源 義国

問 44

小栗上野介ただまさ忠順は【 ア 】の批准交換使節として、米艦ポーハタン
 号に乗り太平洋を渡り批准の任務を果たしました。同時にかんりんまる威臨丸で渡米し
 た勝海舟は日本に帰ることになりますが、小栗は大西洋を渡り地球を一周し
 て日本に帰りました。帰国後、外国奉行・海軍奉行・【 イ 】などの要
 職を歴任し、【 ウ 】に造船所の建設等、日本の近代化のために活躍し
 ました。

- ア： (1) 日米和親条約 (2) 日米修好通商条約
 (3) 日米安全保障条約 (4) 日米平和友好条約
- イ： (1) 勘定奉行 (2) 寺社奉行
 (3) 道中奉行 (4) 遠国奉行
- ウ： (1) 横須賀 (2) 横浜 (3) 川崎 (4) お台場

問 45

今年生誕【 ア 】周年、没後 90 年を迎えた山村暮鳥は、現在の【 イ 】小学校出身で、同校の校歌には「暮鳥のころろ だきしめて大きなゆめを そだてよう」と歌われています。

上毛野はにわの里公園にある暮鳥の詩碑「風景 純銀もざいく」は、「いちめんの【 ウ 】」が繰り返され印象的です。暮鳥の詩は、小学校の国語の教科書に掲載されているものもあります。

ア： (1) 150 (2) 140 (3) 130 (4) 120

イ： (1) 金古 (2) 国府 (3) ^{かみさと}上郊 (4) 堤ヶ岡

ウ： (1) こすもす (2) なのはな
(3) くさはら (4) むぎのほ

問 46

^{きょうがい}境涯の俳人として知られる村上鬼城は、父の仕事のために 8 歳の時に高崎に移り住み、【 ア 】として働く傍らで、正岡子規や高浜虚子に俳句を学び、やがて『【 イ 】』同人となって、大正期における代表的俳人として活躍し、数多くの優れた作品を残しました。倉賀野町の養報寺に建つ句碑に刻まれる「小鳥この頃音もさせずに来て居りぬ」からは【 ウ 】に悩む鬼城の思いが伝わってきます。

ア： (1) 司法代書人 (2) 教師 (3) 公証人 (4) 医師

イ： (1) ^{あさを}麻苧 (2) ホトトギス
(3) ^{あし び}馬酔木 (4) ウグイス

ウ： (1) 結核 (2) 心臓病 (3) 弱視 (4) 難聴

問 47

土屋文明は、現在の高崎市【 ア 】に生まれ、高崎中学校（現高崎高等学校）卒業後、第一高等学校、東京帝国大学（現東京大学）へ進みました。1917（大正 6）年から日本を代表する短歌結社誌『【 イ 】』の選者として活躍し、1930（昭和 5）年からは編集発行人となりました。文明は生涯を通じ【 ウ 】の研究を行い、多数の著書を残しています。これらの功績により、1986（昭和 61）年に文化勲章を受賞しました。1990（平成 2）年に文明が 100 歳になるのを祝い、群馬町（当時）が歌碑（下段写真）を建てました。この歌碑は、母校の【 エ 】小学校にある文明自筆の色紙の文字で刻まれています。

ア： (1) 小八木町 (2) 浜川町
(3) 保渡^{ほどた}田町 (4) 箕郷町富岡

イ： (1) 青踏^{せいとう} (2) アララギ
(3) 新思潮 (4) マヴォ

ウ： (1) 万葉集 (2) 古今和歌集
(3) 新古今和歌集 (4) 千載和歌集

エ： (1) 中川 (2) 長野 (3) 上^{かみ}郊^{さと} (4) 車^{くるま}郷^{さと}



上毛野はにわの里公園にある歌碑

問 48

現在の高崎市吉井町岩崎出身でヤマタネグループ創業者の山崎種二が、1998（平成 10）年に高崎駅東口に高崎タワー美術館を開館しました。しかし、2001（平成 13）年に閉館したため、高崎市がコレクションの寄託を受け、高崎市タワー美術館として運営を引き継ぎました。種二のコレクションは、どのような分野の芸術だったでしょうか。

- (1) 西洋画 (2) 日本画 (3) 浮世絵 (4) 現代美術

問 49

高崎市内には著名な建築家の建てた建築物が点在します。群馬音楽センターは、世界的建築家で日本近代建築に大きな影響を与えた【 ア 】が設計しました。岩鼻町の群馬の森のなかにある群馬県立近代美術館は、ポストモダンの建築家として有名な【 イ 】の設計で、彼は 1974（昭和 49）年に近代美術館の設計によって日本建築学会賞を受賞しました。

- ア： (1) ジョサイア・コンドル (2) ブルーノ・タウト
(3) アントニン・レーモンド (4) フランク・ロイド・ライト

- イ： (1) ^{いそざき}磯崎 ^{あらた}新 (2) ^{おおたか}大高 ^{まさ と}正人
(3) ^{たん げ}丹下 ^{けんぞう}健三 (4) ^{あんどう}安藤 ^{ただ お}忠雄

問 50

崔華國（志賀郁夫）は、映画「ここに泉あり」を見て感動し高崎に転居し、茶房『あすなろ』を営みました。『あすなろ』は高崎の様々な分野の文化活動に影響を与えたと言われています。間違っているのはどれでしょうか。

- (1) 現在、NPO法人が運営している Cafe『あすなろ』は以前さやもーるにあった茶房『あすなろ』と違う場所です。
- (2) 詩人を招いて詩の朗読会や講演会が茶房『あすなろ』で開催されました。
- (3) 茶房『あすなろ』の店内で群響の楽団員による演奏会がたびたび開かれました。
- (4) 崔華國は、詩壇の新人の最高賞といわれているH氏賞を受賞しましたが、外国人受賞は初めてでした。

問 51

福田赳夫元内閣総理大臣についての記述で、正しいのはどれでしょうか。

- (1) 福田赳夫は、旧群馬郡上郊村^{かみさと}の出身です。
- (2) 福田赳夫は旧農林省に入り、戦前・戦中・戦後の困難な時代の農政を担当し、局長になりました。
- (3) 福田赳夫は、アジアの平和が世界の平和をもたらすとして、シンガポールでアジア外交の5原則（福田プラン）を発表しました。
- (4) 福田赳夫内閣は、内需拡大をかねて財政問題に取り組むと同時に、1978（昭和53）年には日中平和友好条約を締結しました。